

Your files have been encrypted!



あなたのファイルは暗号化されました!

ファイルの復元には下記日時までに
罰金としてXXX万円を支払わなければなりません。

残り時間 **1:23:58:43**

ランサムウェア攻撃

近年、被害件数が増加するとともに悪質化してきているランサムウェア攻撃。企業や教育機関、医療機関、行政機関など、さまざまな組織が被害を受けています。どうすれば被害を防止できるのか。また、攻撃を受け、被害に遭った場合、どのように対応していけばよいのかを解説します。



ランサムウェアとは？

「ランサムウェア」とは、「身代金」を意味する英語「ランサム (Ransom)」と「ソフトウェア (Software)」とを組み合わせた言葉です。パソコンやスマートフォンをウイルスに感染させて、保存されているファイル等のデータを勝手に暗号化することで使用できない状態にした後、それを元に戻すことと引き換えに「身代金」を要求する不正プログラムです。

ランサムウェアに感染すると、ファイルが暗号化されて使用できなくなり、パソコンの画面には、ファイルの復号のための金銭の支払いを要求するメッセージ、または連絡先が表示されます。

万一、会社の業務システムやオンラインシステムなどが感染すると、通常の業務運営ができなくなってしまいます。実際に国内の大手メーカーにおいて、受発注システムがランサムウェアに感染したため、工場の操業を一時停止せざるを得なくなった事案も発生しています。

感染経路や手口は？

近年のランサムウェア攻撃では、テレワーク等に用いられるVPN機器などの脆弱性、強度の弱い認証情報を狙って、企業・団体のネットワークに侵入する手口が増えています。

従来のランサムウェア攻撃は、感染した端末のデータを暗号化して使用不能にし、復旧のために身代金を要求するものでした。最近では、「身代金を支払わなければ、データを公開する」と脅す「二重恐喝 (ダブルエクストーション)」が主流になっています。これにより被害者は「データ復旧」と「情報漏えい防止」の二重の脅威に直面します。

さらに近年では、データを暗号化することなく (ランサムウェアを使わず) データを盗み取り、金銭を要求する「ノーウェアランサム」という新しい手口も確認されています。この手法はシステム停止などの目に見える変化を与えないため、発見が遅れやすく、被害の把握や対応をより難しくしています。



被害の未然防止や軽減のために企業ができる対策は？

個々の社員が行う対策

- **不審なメールやウェブサイトを開かない**
メールの送信者、文面、添付ファイルなどに注意を払い、心当たりがない場合や内容に不自然な点がある場合は、ファイルを開いたり、リンクをクリックしたりしないようにしましょう。
- **パスワードは適切に設定・管理する**
最低10文字以上にし、大小英字・数字・記号を混ぜて作成します。サービスごとに異なるパスワードを使い、使い回しは避けましょう。
- **管理者の許可を得ずソフトウェアをインストールしない**
業務や作業に有益な無料ソフトに見せかけ、不正なプログラムをダウンロードさせ、ウイルスに感染させる手口も報告されています。ソフトウェアのインストールは、会社のシステム管理者の管理下で行うようにしましょう。

など

企業・団体全体で行う対策

- **OS等を最新の状態にする**
OSやソフトウェアの更新ファイル、セキュリティパッチを適用し、常に最新の状態を保ちましょう。
- **ウイルス対策ソフトを導入する**
ウイルス対策ソフトを導入し、定義ファイルを最新に保ちましょう。自動スキャンやリアルタイム監視を有効にして、不審な動作を防ぎます。
- **ファイアウォール等を設定して不審な通信をブロックする**
ファイアウォールを設定し、外部からの不審な通信を遮断しましょう。
- **セキュリティ教育と業務継続計画（BCP）**
社員への教育や訓練を行い、被害発生時の対応手順を定めましょう。BCPで連絡先や優先業務も決めておきます。

など



ランサムウェアの被害に遭ったときの対処法

ネットワークから隔離

端末が感染したら、LANケーブルを抜くか、Wi-Fiを切ってネットワークから隔離しましょう。

組織全体で対応する

ランサムウェアは広がりやすいため、組織全体で状況を共有し、必要に応じて支店や提携先にも連絡しましょう。

感染した端末の電源を切らない

復元に必要な情報が残っていることがあります。端末の電源はむやみに切らないようにしましょう。

警察に相談・通報する

被害を防ぐため、警察や関係機関に相談・通報しましょう。助言を受けながら適切に対応することが大切です。

参考サイト ランサムウェア、あなたの会社も標的に？被害を防ぐためにやるべきこと | 政府広報オンライン
<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/202210/2.html>

秋田を元気にするお手伝い

INEX

株式会社 アイネックス

□本社(管理本部)	秋田市牛島西1-4-5	Tel 018-887-5560	Fax 018-835-5666
□空間コーディネート事業部	秋田市牛島西1-4-5	Tel 018-832-1211	Fax 018-832-1210
□DX推進事業部	秋田市広面字鍋沼37	Tel 018-831-3131	Fax 018-831-2211
□能代営業所	能代市宇鳥小屋32-5	Tel 0185-55-3780	Fax 0185-55-3750
□大仙営業所	大仙市大曲須和町2-2-20	Tel 0187-62-6630	Fax 0187-62-6610
□店舗事業部	秋田市広面字鍋沼37	Tel 018-837-9801	Fax 018-837-9803



inecx.co.jp